

鎧も兜も武器もない 診療所での 新型コロナウイルス対策

(2020.4.5)

第3報

北村山地区医師会
八 鍬 直

県内でも流行し始めました。いよいよ大変な事態になってきました。
防護は大丈夫ですか？頻回に換気はしていますか？



有症状者には、特に気を付けて対処してください



しかし、防護服等、なかなか手に入らない状態が続いております→次ページ

医師・看護師・医療事務もみんなゴーグル、グローブ、マスクをしましょう。
「風邪を引いていない患者さん」も新型コロナに感染している可能性があります。

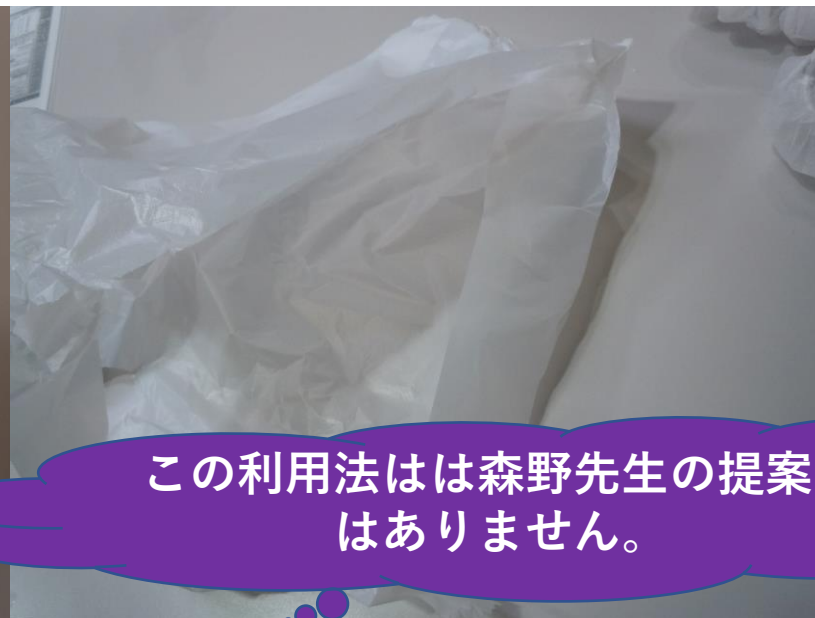
入手可能な物を利用して「防護」しよう！

「つい忘れがちなのは頭の防護」～DMATで国際的に活躍している県立中央病院 森野一真副院長からの助言

ディスポのキャップや手術用の布のキャップ→手に入らなかったら・・・



調理用ディスポキャップ



この利用法はは森野先生の提案ではありません。

レジ袋やサランラップを



内側に貼る

予防衣、アームカバー

ディスポの袖付きエプロンはなかなか手に入らない状態が続いております。布のいわゆる「予防衣」であれば手に入ります。使用後直ぐに塩素につけて水洗したり、やはり直ぐに密閉した状態にして洗濯機まで運び洗剤で洗うのも良いかもしれません。

グローブと予防衣や白衣・スクラブとの間が無防備になりがちです。必要に応じアームカバーを着けましょう。ディスポがなければ、農業用のアームカバーならいくらでも売っています。使用後洗濯すれば繰り返し使用できます。



グローブ・ゴーグル

【グローブ】 首から上を触らないために、診療中は常にグローブは着用した方がいいと思います。手指の洗浄はグローブをしたままして下さい。そして汚染が生じそうな場合は2重に着用して、処置が終了したら2枚目のみを外してください(県立中央病院森野一真副院長からの助言)。

グローブに関してはロングサイズがあり入手可能です。アームカバーがなくてもこれがあればいいかもしれません。

【ゴーグル】 作業用のゴーグルなら、作業用品店で、眼鏡用も含め入手可能かと思います。ネットで注文も可能かもしれません。



フェイスシールド

市販の物が入手可能ならいいのですが、できなかつたら工作してみましょう



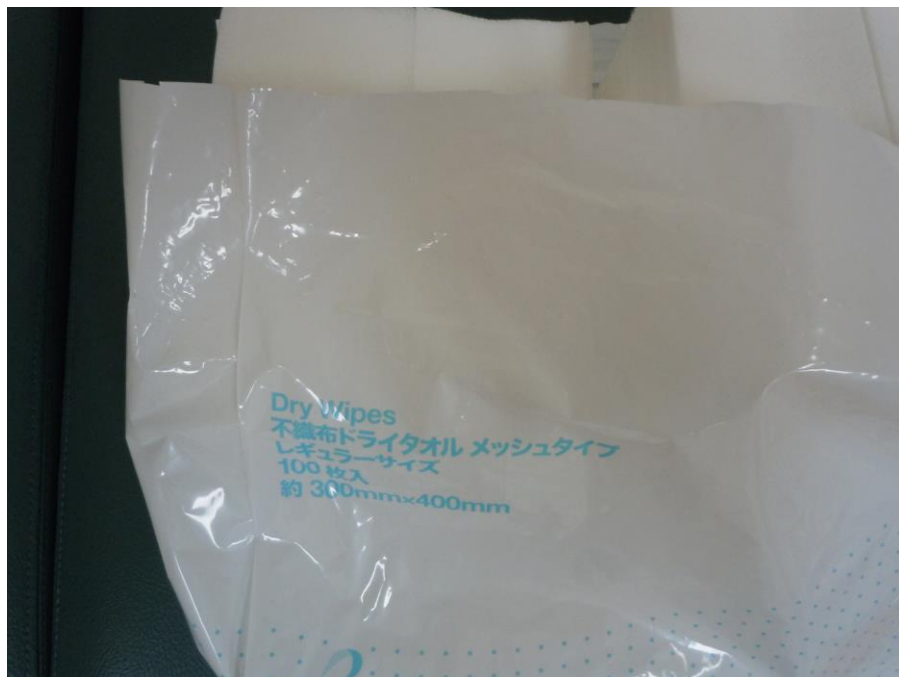
ラミネートシールを器械
に入れて透明にする



裁縫用ゴムとボタンを付ける
(頭のサイズの調整可能に)



無駄な部分を裁断



不織布タオルを使用



折り畳んで貼り付ける



2段重ねにして厚みを付ける。
貼り付けはビニールテープで行
い、不織布を覆うようにする
(消毒しやすいように)

完成！

貼り付けた不織布が見えないようにテープを貼ったが、「黒はチョットセンスが悪い」との評判

調理用のキャップ～内面にレジ袋を貼り付けてある

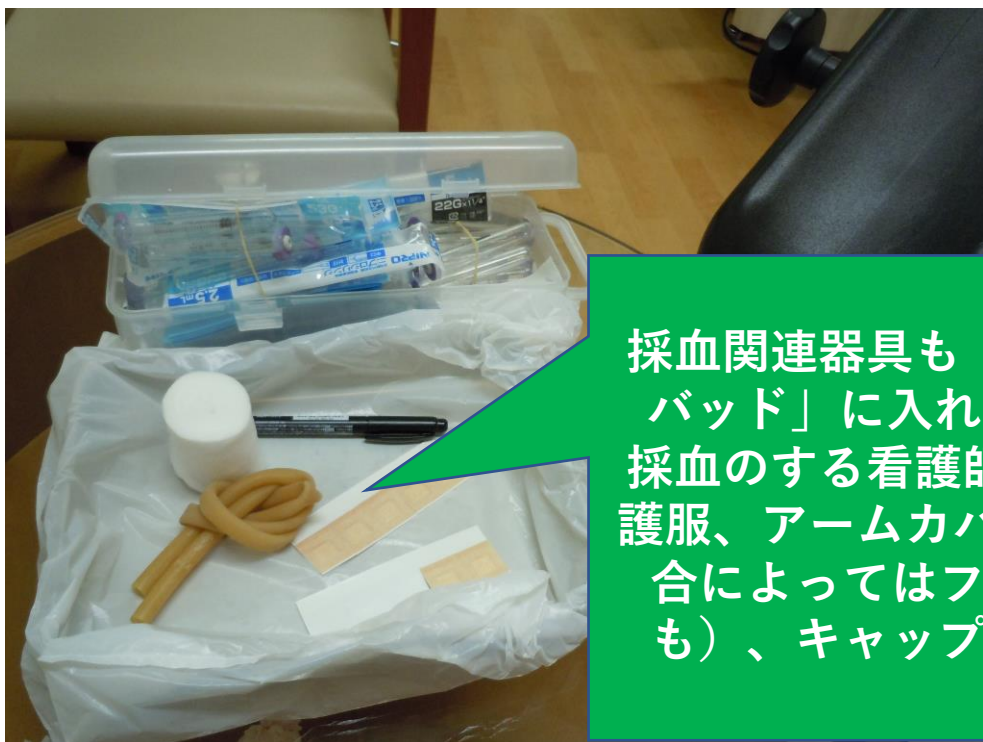
農業用のアームカバー

裁断～頸部、襟元の部分が隠れる程度まで、また処置するのに手が動きやすい程度に裁断

布製の予防衣



感染が疑われる方のX-P撮影・採血・会計・現金



採血関連器具も「レジ袋で包んだバッド」に入れて1人1人交換。採血のする看護師は、マスク、防護服、アームカバー、ゴーグル(場合によってはフェースシールドも)、キャップを身に着ける。



SARSの場合は、コイン等の現金からも感染したといわれています。「防護状態の看護師」が、「レジ袋」に包んだ「会計皿」を使い「隔離部屋」で会計。



X-P撮影の際はカセットを「ゴミ袋」で包む

次亜塩素酸ナトリウムの使用上の注意

アルコールが不足する中、次亜塩素酸ナトリウムは消毒に欠かせないものですが、人体には有毒な物質ではありますので、使用の際は以下の点にご注意ください。

- ①調整濃度を間違えないこと。
- ②テーブル、手摺等の消毒後は10分後に水拭きすること。
- ③使用時は必ずグローブを着用すること。また、換気も行うこと。
- ④有毒な塩素ガスを発生し呼吸困難等を招くので酸性洗浄剤と混ぜないこと。
- ⑤空間への噴霧は避けること。
- ⑥マスクなどの消毒後は十分に水洗いすること。
- ⑦高温、紫外線で容易に失活します。作り置きやお湯での調整はやめること。